

1 産地の概要

<対象地域> 海津市

<対象品目> 小麦、大豆

<産地の現状・課題>

・海津市の小麦、大豆の作付面積は県内第1位(H30小麦980ha、大豆979ha)だが、地力低下や気象条件などにより収量・品質が不安定であり、特に大豆については収量の低下(不安定さ)が著しい。

◆海津市の小麦・大豆収量(kg/10a)

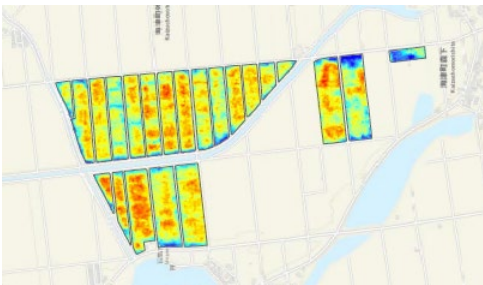
【小麦】H26:440 H27:401 H28:367 H29:442 H30:399

【大豆】H26:140 H27:107 H28:106 H29:145 H30:42

・大区画水田を利用した作物栽培では、標準的な水田区画に比べて集約的に栽培管理を行うことが困難であり、肥料散布幅の重複による「二重施肥」により、無駄な肥料の消費が増加するほか、多肥条件による作物の倒伏リスクが増加する。

2 検討体制

- ・有限会社福江営農 (役割:協議会代表、検証)
- ・岐阜大学 (役割:検証に対する助言、画像解析資料の提供)
- ・海津市役所 (役割:検証の実施支援ならびに成果の波及)
- ・西美濃農業協同組合 (役割:検証の実施支援ならびに成果の波及)
- ・西濃農林事務所 (役割:検証の計画、実施、結果分析、波及)



大豆ほ場の生育状況の画像解析結果



可変施肥対応ブロードキャスター

3 新たな営農技術体系への転換

<目指す産地像>

衛星等画像解析結果から作物の生育状況を把握することで、施肥・排水等対策を講じ、収量等の向上を図る。また、可変施肥技術の活用により、ほ場ごとに適した施肥を行う。



①画像解析技術

②可変施肥対応ブロードキャスター



<新たな営農技術体系の効果(検証結果)>

画像解析により生育状態の異なる大豆ほ場の把握・要因調査が可能

<新たな営農技術体系の今後の取組内容>

取組主体	R2	R3	R4	R5
海津市	ニーズ調査・マッチング支援・情報収集及び提供			
JAにしみの	マッチング支援・情報収集及び提供			
岐阜大学	可変施肥に関する基礎調査			
西濃農林事務所	施肥調査	マッチング支援・情報収集及び提供		